

台湾産・パイナップルを市内学校給食で提供しました

笠間市は、2019年7月24日、台湾農業部農糧署と『食を通じた文化交流と発展的な連携強化に関する覚書』を締結し、学校給食に台湾フルーツを提供してきました。

5月21日(木)に市内全ての小・中・義務教育学校(16校)の児童・生徒に台湾産パイナップル(335個:ひとり1/16カット)を提供しました。

当日は、友部中学校に胡 忠一(こ ちゅういち)農業部政務次長ほか、関係者の方々をお招きし、市長や生徒たちとの交流給食を行いました。生徒たちは、中国語で歓迎の気持ちを伝えるなど、台湾との交流を深める貴重な機会となりました。

児童・生徒の皆さんは、芯まで食べられる台湾産パイナップルをおいしくいただきました。



【当日の献立】ミルクパン・牛乳・ブラウン
チュー・ブロッコリーサラダ・台湾パイ



【友部中学校での交流給食の様子】
写真後列中央:胡 忠一 農業部政務次長
写真後列右:山口市長